

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ

聖徳フラッシュ
第14号
平成16年10月1日
発行
学校法人 東京聖徳学園
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)

聖徳学園ホームページ
<http://www.seitoku.ac.jp/>

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属高等学校
- 聖徳大学附属聖徳高等学校
- 聖徳大学附属中学校
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学附属第三幼稚園
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳学園多摩中央幼稚園

INDEX

■主なトピックス■

- ・聖徳中学校・聖徳高等学校 創立20周年記念式典挙行へ
- ・ピンクリボンマイルウォーク
- ・あなたは良い食生活をしていますか 生活文化学科 江指先生
- ・経験を重ねる「インターシップ実習」
- ・第19回全校合唱祭行われる
- ・吹奏楽コンクール金賞受賞
- ・園外保育・乗り物いっしょ!交通博物館
- ・東京聖徳学園 創立70周年記念事業募金 寄付者芳名一覧

聖徳中・高	1
学園	2-3
大学院・大学・短大	3-6
附属中・高	6
幼児教育専門学校	7
小学校	7
幼稚園	8-9
寄付者芳名一覧	10-11
インフォメーション	12

より豊かな未来に向け ISOをダブル取得

聖徳学園は、日本の教育機関では初めて品質管理システムのISO9001および環境管理システムのISO14001、両国際規格の認証を同時取得しました。高品質でより良い教育を可能にするシステムを作り上げ、また地球環境を守る管理システムを整え、それが国際機関の定めた規格で認証を得た今、聖徳学園は次の高みに向けて新たな活動を開始します。

ISO9001 (教育の質マネジメントシステム)
ISO14001 (環境マネジメントシステム)

ご意見/ご感想募集
「聖徳フラッシュ」は皆さんの広報誌です。本誌に関するご意見・ご感想をお聞かせください。
企画渉外課まで
FAX番号: 047-363-1401
Eメールアドレス: pub@seitoku.ac.jp

聖徳中学校・聖徳高等学校 創立二十周年 記念式典挙行へ

平成十六年十月十六日(土)、開校二十周年を迎える聖徳大学附属聖徳中学校・聖徳高等学校茨城県藤代町において記念式典が挙行されます。

以下、式典にちなんだ記事をご紹介します。

二十年の歩み

昭和五十八年の開校後、数年は思うように生徒数が増えない時期もありましたが、高校に英語科・体育科が設置され、また本校の教育が周辺に理解されるに伴い生徒数も増加に転じました。学習活動・特別活動における教員の指導に生徒たちは懸命に応えてくれました。このように初めの十年は聖徳中・高の成長・発展期でありました。

対して平成六年度以降の十年はいろいろな意味で激動期であったといえます。この時期は全国的に叫ばれていた中高生の減少に対し、本校でも開校以来培った聖徳教育を基にさらなる発展をめざし、中学校に音楽コース、高等学校に特別進学コース、進学コースに児童保育系を設置し、多様化する小中学



二十年シンボルマーク

マークの考案者、水越卓治教諭(聖徳中・高)にシンボルマークに託す熱い思いをうかがいました。

『環境ISOのイメージを地球になぞらえ、青の円と緑の楕円に描き、教育のイメージを藤代の師弟関係になぞらえ、リボン状(濃・淡のピンク)の図形に託しました。』

生の一歩ずつに対応してきた。また学習活動・特別活動において国立大学への進学、全国大会への出場など多くの成果を上げてきました。中でも平成十四年度、茨城インターハイでの新体操部六位入賞、さらにそのインターハイ開会式で音楽隊を務めた吹奏楽部が全国アンサンブルコンテストで金賞に輝き、学園長賞を受賞したことなどが特筆に値します。

また数年前からISSOの認証取得に向け、全学園の取り組みの中で見直された教育の品質化への指針も今後の聖徳中・高にとって曙光となるものと思えます。

各教科における授業内容と進度を紹介するシラバスの作成・配付もその教育の質の充実の一端をつがわせています。

その他、これまで生徒のみを対象としていた礼法授業を教員自らが受講し、花鬘の伝取得に向け、精進しています。

今後とも教職員一同、聖徳中・高の発展に尽くしてまいります。皆様方のご支援・ご声援を心よりお願い申し上げます。

二十年記念事業

二十年という節目の年を迎え、本校舎とその周辺ではさまざまな記念事業が進んでいます。



新設のCALL教室でパソコンに向かう生徒たち

動を行うといった実践的な言語活動も可能になります。一方、教材の配付・回収をネットワーク上で行ったり、DVDやビデオ教材も提供できるので、英語に限らずすべての教科の授業で活用できます。(この春に聖徳大学にも同様のシステムが導入されています。)

このCALLシステム教室と既設のコンピュータ教室・職員室・事務室を校内LANで繋ぐことにより、本校も情報の共有化を図れる環境になります。より効率的な学習指導と、より効果的な業務とを推進していきます。

CALLシステム及び校内LAN

CALLシステムとは従来のLL機能をパソコン上で実現できるようにしたものです。これまでのLL授業はカセットテープが中心でしたが、CALLシステムの導入でデジタル化された教材を使用できるようになります。音声や画像・動画が電子ファイルとして扱われるので、従来は別々の教材として提供していたものを、パソコンの画面上で同時に処理でき、より多角的な授業展開が可能になります。たとえばテキストやWeb上の文字情報を音声情報に変換し、読み上げ速度を自由に変更できるので、効果的な個別学習ができます。また、動画に対して台本を作り、それを録音したものを作品として生徒全員に配信し、視聴の後、生徒同士で評価活

時計塔の装い新たに時刻が気になると、地域の方々もふとふりあおぐ時計塔。さすがに二十年に及ぶ風雨にさらされ、表面の塗装にもその時間の長さが感じられていたのですが、今回新たに塗装を済ませ、開校当時の姿によみがえりました。

この時計塔のように気分一新で教育活動に専心したいところです。

以上、記念式典の開催に先立って、関連情報をお届けしました。

記念式典当日は、記念祝賀会も予定しております。多くの方々をお迎えし、皆様とともに



聖徳中・高 特別活動の主な実績(平成9年度~平成15年度)

<p>平成9年度</p> <p>【陸上競技部】▶国民体育大会 少年B女子 系賀千恵(200m第1位)</p> <p>【駅伝部】▶全国高校駅伝 第13位</p> <p>平成11年度</p> <p>【水泳部】▶全国高等学校総合体育大会 松田尚子(高飛込・第2位、板飛込・第3位)</p> <p>【箏曲部】▶全国高等学校総合文化祭 日本音楽部門 文化連盟賞</p> <p>【英語スピーチ】▶全国高等学校国際教育英語弁論大会 文部大臣(最優秀)賞 澤登舞香</p> <p>平成13年度</p> <p>【スキー部】▶全国高等学校総合体育大会 志賀早希子(回転・大回転)</p>	<p>平成14年度</p> <p>【新体操部】▶全国高等学校総合体育大会 団体 第6位</p> <p>【バスケットボール部】▶全国高等学校総合体育大会 2回戦進出</p> <p>【体操競技部】▶全国高等学校総合体育大会 個人 西山なる美 出場</p> <p>平成15年度</p> <p>【水球部】▶世界水泳選手権「水球」大会 第11位</p> <p>【ダンス部】▶ミスドリルチーム日本大会 リカル部門 第1位</p> <p>【吹奏楽部】▶全日本アンサンブルコンテスト クラリネット八重奏 金賞</p>
--	--

二十周年の慶びを分かち合うことができればと存じます。

なお、聖徳中・高の二十年にわたる歩みについては、二十周年記念誌をご覧いただけます。

記念誌の発行にあたっては編集委員会を組織し、各教員が役割を分担し、まとめあげました。

附録のDVDでは動画もご覧になれます。ぜひお楽しみください。

第三十八回 SDA賞に入選



聖徳大学サテライトキャンパス

昨年度、港区三田に完成し、現在大学院の授業や免許法認定公開講座などに使用されているサテライトキャンパスは、環境に配慮した最新設備だけでなく、そのユニークなデザインで多くの人々の目をひきます。

今回、このサテライトキャンパスのサインデザインが注目され、第三十八回SDA賞(社団法人日本サインデザイン協会主催)のコーナー

であるサインボード等に至るまで、その作例は多様にあります。そして公共性のあるもの、商業的なもの、いずれも訴求効果、環境との調和を考えてデザインされたものが望まれます。

今後、様々な用途での利用が検討されているサテライトキャンパスにご注目ください。

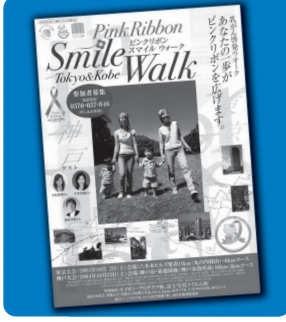
ピンクリボンスマイルウォーク



ピンクリボンを大いにアピール

聖徳大学・聖徳大学短期大学部は昨年に引き続きピンクリボンキャンペーンに協賛し、十月一日からのピンクリボンフェスティバルのメインイベントとなる、十月二日(土)「ピンクリボンスマイルウォーク」(朝日新聞社、テレビ朝日、朝日放送主催)に参加することになりました。

「ピンクリボン」とは三十歳～五十歳代の年代層の中で、死亡率が一番多い乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝えるキャンペーンであり、昨年は全体で三千名以上が参加し、本学園からも学生保護者、教職員から参加をし、当日は天候にも恵まれ大盛況のうちに終了いたしました。



今年度は聖徳大学附属中学校・高等学校の吹奏楽の演奏による出発セレモニーによりスタートし、十一キロ(六本木 麻布十番 芝公園 有楽町マリオン丸ビル 霞ヶ関 アークヒルズ 六本木)及び六キロ(六本木 南青山 表参道 行幸通り 六本木)の距離を歩きます。

この参加を通して多くの人にピンクリボンの意味を伝え、ピンクリボン運動を通じ乳がんによる死亡率の低下に貢献していきたいと思っております。

おめでとう!! がんばっています

アテネオリンピックで卒業生のご主人が銅メダル

短大卒業生 轟真由さん



精神的な強さ 大躍進の力に 関 轟組冷静なレース運び 豊富な国際経験生きる

今年の猛暑は、アテネオリンピックに関する話題で始まり終わった観がありました。記録的な長い熱帯夜も、連日のメダルラッシュで、気分爽快になりました。そのメダルラッシュの中に、実は聖徳と関係深いヒーローがありました。

七月の香和会総会の出欠返信用の八ガキに、こんな近況を見つけた。主人がオリンピック代表になりました! 470級というセーリングなのですが、先日世界選手権があり代表に決まりました。という一文でした。短期大学部、生活文化学科、現総合文化学科、生活情報コースBクラス、花岡俊秀先生担任平成一〇年卒業の轟真由(旧姓富田)さんの八ガキです。轟さんは、七月の総会には、残念ながら欠席でしたが、名字が大変めずらしいので、香和会事務室の職員のとまりました。

轟さんの夫、賢二郎さんは、関一人さんとペアを組み、八月二十一日見事銅メダルを獲得しました。日本のヨットでは、アトラクタ五輪女子470級銀メダルの重由美子、木下アリーシア組以来のメダルで、男子では初。(朝日新聞)だそう。ヨット男子で初のメダリストを支える素敵な女性が、実は、和の精神の聖徳短大

応援ありがとうございました!

今年暑い日が続くアテネでも熱いオリンピックが開催されました。各種目で選手たちが活躍し、素晴らしい結果を見せてくれました。寝不足に日本中が包まれたような気がいたします。さて、前回の聖徳フラッシュでお知らせいたしました三田幼稚園の保護者

豊田雅俊選手がレスリンググレコローマン55kg級で勇姿を見せてくださいました。結果はAグループ二位(一勝一敗)で惜しくも準決勝に進めませんでした。感動と興奮と勇気、努力、熱意等を私たちに与えてくださいました。結果のご報告と共に応援いただいたことへの御

礼を申し上げます。ありがとうございました。目指せ!! 北京オリンピック!! 豊田選手の今後の活躍をお祈りいたします。聖徳学園三田幼稚園 園長補佐 佐藤まり子

未来のピアニスト六人が 第二十八回 ピティナピアノコンペティション

聖徳大学川並賞受賞

本学では優れた音楽家とその指導者の育成を目指し全日本ピアノ指導者協会が主催するピティナピアノコンペティションに協賛し、その中で特に優秀な演奏者六名に今年度より聖徳大学川並賞を授与しています。本学には音楽文化学科があり、また児童学科や短大の保育科で幼児教育者養成の一環として学生のピアノの上達に特に力を入れています。そこで、ピアニストを目指す子どもたちの励みになるよう、今年度のコンペティションが

E級	金賞	水谷 桃子
E級	銀賞	榎谷 優斗
E級	銅賞	正住真智子
F級	金賞	山田 真琳
F級	銀賞	福田真梨奈
F級	銅賞	正源司有加

受賞者全員から受賞の喜びと感謝の手紙が本学へ届けられました。ここでは、E級高校一年生以下の部)銅賞で聖徳大学川並賞を受賞された正住真智子さんからの手紙を紹介いたします。



聖徳大学川並賞受賞者。写真一番左が正住さん

す。ピティナピアノコンペティションには、小学三年生から毎年参加して、たくさんのお勉強をさせていただきました。まだまだ未熟な私にとって、音楽の道は、奥深く、難しく、悩むことも多いのですが、ピアノを弾くことは大好きです。今年、このような名誉ある賞をいただきまして、大変幸せを感じますとともに、気持ちを新たに、毎日毎日の積み重ねを大切にしたいという思いを強くしました。

この聖徳大学川並賞を励みにさせていただき、感謝の気持ちを持って、これからもピアノを弾き続けていきたいと思っております。ありがとうございました。私は、いま中学二年生で

謹んでお礼申し上げます。

まもなく完成!

上棟式が行われる

聖徳大学生涯学習社会貢献センター建設中

去る九月一日(水)大安の日に聖徳大学生涯学習社会貢献センターの上棟式が行われました。今年の夏は例年になく暑い日が続いておりこの日も三十度を越える日となりました。

地鎮祭が平成十五年九月二十四日(水)に行われて約一年で鉄骨が組みあがり、上棟式を迎えることができました。学園関係者を含め百三十名以上の来賓者にご参加をいただきました。式典では、修祓・降神の儀、献饌・祝詞奏上・四方祓の後、法人役員、各学校の代表者、工事関係者の玉串奉奠が行われ、撒饌・昇神の儀と進み

ました。その後上棟の儀にうつり、祭壇に置かれていた棟札幣串が神職から川並理事長に渡されました。その後設計者、施工者、作業所長、高職に受渡りレーが行われ所定の位置に設置されました。最後の棟木納めの儀では江戸消防記念会、代十

一、四番組による「きやり」がおこなわれる中、鉄骨の梁を屋上のクレーンにより吊り上げ無事最上階に納めることができました。直会では、理事長が、文部科学省の私立大学学術研究所



建設の無事を祈る学園関係者

に納めることができました。直会では、理事長が、文部科学省の私立大学学術研究所

高度化推進事業において本学のプロジェクト、生涯学習の観点に立った「少子・高齢化社会の活性化」に関する総合的な研究が採択され、その研究拠点として松戸駅前十四階建てのビルを建てることができました。とご説明され、今後の計画として、十三階には二ユーオータニが入り、十四階にはパケットホールが充実し、さらには駅前保育の設置も考えております。また、石井幹子デザイナーによるライトアップも考えております。と述べられました。

最後に、今後の工事の安全と聖徳学園の益々の発展を祈念に三本締めで盛会裡に終了いたしました。

上棟式とは？
建築儀礼の一。上棟のとき、工匠などが神をまつって行う儀式。上棟祭、棟上げ、むねあげ式。

初学位(日本文化)は留学生言語文化研究科から博士誕生
台湾からの留学生・黄幸素さんが、九月十八日に実施の学位記授与式において、言語文化研究科として初の博士を授与されることになりました。黄さんの研究題目は、戦前台湾の日本語教育。伊沢修二と山口喜一郎の教授法を中心に、というものです。来日以来、大学院日本文化専攻大友信一教授の指導の下で研究をつづけ、学位論文をめぐって研究をまとめ、本年七月二十三日の公開発表会においてその成果を報告しました。当日は、いくつかの専門的な質問にも流暢な日本語で応答し、その内容が認められ、今回の学位授与にいたりました。日本文化専攻の大学院では、平成十年に発足して以来六年になりますが、学位取得は日本人をふくめて初めての快挙です。

黄さんの研究は、台湾の発表、実践科目の充実度、九つの専修制などについて説明しました。また就職指導については千二百人を超える幼児教育志望の学生全員と夏休みを利用しての個別面談、OG参加の報告会、その他各種セミナー等々、教職員が連携して保育士養成に取り組んでいる実情を話し好評でした。このことにより、聖徳大学ならびに短期大学部に対し、より一層の信頼を得ることができました。

長期インターンシップの実施で

就職率100%!!

現代ビジネス学科

今年も九月から来年の二月までの六ヶ月間に亘る長期のインターンシップがスタートしました。人文学部現代ビジネス学科三年生の必修科目であるインターンシップも今年で五年目を迎えます。

一昨年は四十七名が三十四ヶ所の企業や官公庁にてインターンシップを実施し、実習中に将来の進む方向性を見極め、全員が各方面の企業に就職を決めて今春卒業して行きました。この就職水河期に就職率はなんと100%でした。その内三割の学生はインターンシップ先にそのまま就職しています。卒業生はこの四月から全員長期インターンシップの経験が大いに生かして各方面で活躍しています。

昨年(四十四名)の学生が三十七ヶ所でのインターンシップを実施し、目下就職試験にチャレンジ中です。中には既にインターンシップ先に就職が決まった学生も数名あり、殆どの学生が採用内定の通知を買っています。

全国のインターンシップ普及率は平成十六年度の全国の大学、短大の約六十%が実施していると言われております。但し多くの大学では二〜四週間の短期インターンシップが中心で、本学のように六ヶ月間の長期に亘るインターンシップは全国でも稀です。

長期のインターンシップを実施する事により学生は、座学では学べない社会の仕組みや仕事の流れ、職場の人間関係、情報システムの活用方法、社会貢献等大変貴重な経験が出来、インターンシップ後は人間的にも大きく成長しています。

又受入先企業では、即戦力となる社会人の採用を重視していますので、長期インターンシップは就職にも大変有利であり、景気不透明な今の社会にマッチした最良の制度と言えるでしょう。

大学事務局インターンシップ室では、現代ビジネス学科生以外でもインターンシップを体験したい学生を短期間で企業や官公庁に派遣しています。今夏は七名の学生が体験し、この経験を就職活動の武器として大いに生かして買っています。

黄さんの研究は、台湾の発表、実践科目の充実度、九つの専修制などについて説明しました。また就職指導については千二百人を超える幼児教育志望の学生全員と夏休みを利用しての個別面談、OG参加の報告会、その他各種セミナー等々、教職員が連携して保育士養成に取り組んでいる実情を話し好評でした。このことにより、聖徳大学ならびに短期大学部に対し、より一層の信頼を得ることができました。



今回、博士を授与される黄幸素さん



学生の製作したアンモナイト・レプリカ Perisphinctes ベリスフィンクテス ジュラ紀(約一億五千万年前) マダガスカル産

本学では初めての学習レプリカ作りに挑戦! 通信教育部の博物館学実習 スターリング:平成十六年七月十八日、十九日 活気あふれる授業の様子

学外研修

大学・短期大学部

毎年実施している学外研修が
七月二十六日(月)を皮切りに
九月五日(日)をもって無事終了



その「湯釜」で知られる白根山に登頂

学外研修 は一年生を対象として三つの班に分かれ長野県の志賀高原で実施しました。今年の関東地方の夏は、例年になく猛暑に見舞われましたが現地の気温は関東地方では考えられないほど涼しく、ハイキングやキャンプファイヤー、またクラス対抗かくし芸大会などさまざまな催しが行われ、普段友達と接することが少ない学生たちも笑顔で四日間を過ごしました。



キャンプファイヤーを前にマイムマイム

短期大学部の二年生、部生は三年生を対象とした学外研修は六月に、部生は八月に、部生で四つの班に分かれ七日間という長い行程を北海道で過ごしました。都会を離れ広々とした土地で過ごす七日間は、学生生活での大きな思い出になりました。



神秘的湖「厚周湖」



小樽運河にて

宿泊先のホテルや食事、各見学場所等さまざまな場所で学生同士、また先生方と交流を深め、普段の生活では見えなかった友達の一面も見る事ができ、より友情の和が各クラスで深まりました。中には当初行きたくないと思っていた学生も日が経つにつれ来よう気持ちは変わり、人を思いやる気持ちが身につきました。

この学外研修で身に付けた多くのことを今後の生活に活かしていただければ幸いです。ご理解ご協力をいただきました保護者の皆様、関係各位に感謝いたします。

第十一回 留学生フレンドシップパーティー

去る六月十八日(金)留学生フレンドシップパーティーが開催されました。これは留学生同士や、国際交流委員・留学生担任の先生方との交流会で、今年で十一回目を迎えます。昨年度より、日本人学生も参加し、聖徳の中の小さな国際交流の場として発展しつつあります。今年は、五十名近くの参加者を得ました。

まず第一部では、七号館実技室でじゃんけんゲーム、輪投げゲーム、漢字パズルゲームを行いました。漢字パズルゲームは、偏と旁に切り分けられたカードを組み合わせて、ひとつの漢字を作るゲームです。制限時間内にいくつ正しく作れるかをチームで競い合いました。学生達は四苦八苦しなながらも、チーム内で自然と協力体制を作り上げ、大接戦を繰り広げました。

第二部ではアミティエに移動し、軽食を囲みながらの歓談の場が設けられました。たっぷりとゲームを楽しんだ後の食事は格別のよ間で、皆あつ

皿が空になるほどの食欲旺盛ぶりを見せていました。ゲームで互いに打ち解けた分、歓談も大いに盛り上がり、あちらこちらでメールアドレスを交換するなどして交流を深めていました。また、一年生からは先輩に授業やインターンシップ等についてアドバイスをもらうことができて良かったとの声も聞かれ、この会を大いに活用してもらっていると感じました。留学生にはこれに留まることなく、さらに交流の輪を広げて、今後の学校生活をより豊かなものにするよう願っています。



パーティー終了後、アミティエにて。

第十八回 管理栄養士国家試験 合格者が発表される

本学専攻科卒業生が健闘

平成十六年五月二十三日(日)、東京都ほか七地区において実施された第十八回管理栄養士国家試験の合格者が六月十四日(月)厚生労働省、各地方厚生局及び各都道府県において発表されました。

結果は表に示したとおりですが、全体の合格率が年々低下している中で本学短大専攻科食生活専攻の卒業生たちの合格率がここ三年かなり上昇してきています。

年次別受験者数、合格者数、合格率

	受験者数		合格者数		合格率(%)	
	全国	本学	全国	本学	全国	本学
平成14年度(第16回)	22,114	11	4,621	7	20.9	63.6
平成15年度(第17回)	23,897	18	4,732	11	19.8	61.1
平成16年度(第18回)	27,871	25	4,350	17	15.6	68.0

本学:専攻科食生活専攻の各年度の卒業生数の結果のみを示した。2004(平成16)16.22現在

この専攻科は平成四年十二月に二年制の専攻科として全国で初めて学位授与機構から認定を受け、平成五年から一回生四名で出発しました。この学生たちが平成七年に国家試験を受験した時は、四名が受験し一名が合格したのみでした(当時の全体の合格率は四十一・八%)。

短大部の卒業生は平成九年に二十八名(専攻科も含む)の合格者を出してからは減少し続け、平成十二年には十三名となり、この中

で専攻科(当時は十一名の定員)の占める合格者は三名という有り様でした。このままではじり貧になる様が見えてきたため、当時の短大部生活文化学科と関係教員が一丸となりカリキュラムの内容改定に取り組みました。そして、その一環として短大を卒業してきた専攻科の学生を、従来の夏期栄養セミナー(平成三年から実施)に加えて直前講習会を取り入れて二年間の受験対策とする授業を最優先して関係教員が行いました。なお、この専攻科卒業生たちの受験科目については、本学が管理栄養士養成施設ではないため、免除科目なしの十三教科で受験しています。従来、管理栄養士養成施設の卒業生は、十三教科中六教科(解剖生理学、病理学、生化学、栄養学、健康管理概論、食品学)も免除されている中、科目数からみても本学専攻科卒業生にとつて、管理栄養士に合格することは高きハードルであるといえます。

その後、平成十三年度から学部生活文化学科(江指隆年学科長)が設立され、専攻科と学部との二本立て教育がこの三月まで行われ、学部生一学年二百余名の教育が現実となつてきて、今までのやり方では効率が悪いのでは?という意見が大勢を占めたため、従来のものに、新たに平成十四年から管理栄養士国家試験対策委員会を立ち上げて模擬試験も導入し、現在は年四回の試験を授業とは別個に行っています。

平成十六年の合格者には専攻科以外の人たちが十八名(六月二十二日現在)いますが、彼女たちは夏期栄養セミナー、直前講習会、模擬試験等をうまく利用し栄冠を勝ち取りました。

短大部だけの学生教育から専攻科として学部への教育の流れの中で行われてきた国家試験対策が、今回の良い結果をもたらしたのだでしょう。

コラム

あなたは良い食生活してますか？

江指 隆年先生 生活文化科学科長インタビュー

良い食生活、カギは「骨貯金」と「バランスのよい食事」

「飽食の時代」といわれる今日、実は日本人が慢性的なミネラル不足であるというところをご存知ですか？



生活文化科学科 江指隆年先生

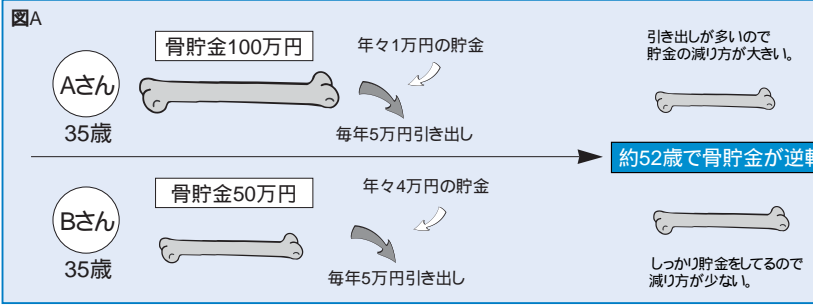
まず、ミネラルとは何ですか？

A ミネラルはたんばく質、脂質、糖質、そしてビタミンに並ぶ五大栄養素のひとつで、一番身近なものなかにカルシウムや鉄分などがあります。

A 人間の骨は生まれて、およそ二十歳くらいまでに骨の太さと長さそして三十四歳くらいまでにその密度が決まります。

骨の太さと長さそして三十四歳くらいまでにその密度が決まります。三十四、五歳をピークに骨から徐々にカルシウムが溶け出して、骨の密度は低下していきま。

A 一言でいうと、体を作ることに体の調子を整えることです。よく言われる話では日本人はカルシウムの摂取量が少ないので骨の出来がよくないということがあります。



骨を丈夫に保つために先生が提唱された「骨貯金」について教えてください。

運動も骨貯金に効果がありますか？

- 第一群 たんばく質、魚肉卵、大豆など
第二群 カルシウム、牛乳、乳製品、小魚、海藻など
第三群 緑黄色野菜、にんじん、かぼちゃ、ほうれん草、小松菜など
第四群 淡色野菜、大根、きゅうり、キャベツ、白菜など

先生が考える理想の食事とはなんですか？

A 一言で言うと和食ですね。米、魚、大豆、海藻、根菜類、あと季節を大事にする食材、地域特有の調理法も大事です。

最後に生活文化科学科で管理栄養士を目指す学生に一言お願いします。

聖徳大学が目指す管理栄養士は、体の健康だけでなく、心と体の健康、この二つを同時に高めることができる栄養士です。

通信教育部 十六年度十月生願書受付中(十一月三十日まで)

年々学生数が増加する通信教育部の大学・短大十月生願書受付が、八月一日よりスタートしました。

その学習スタイルも、三年度編入学以外に、教員免許状の必要科目だけを履修する課程正科生、一科目から履修できる科目等履修生と各自の目的に合わせて選べるようになっていきます。

聖徳大学通信教育部(共学) 047-365-1200 11/30まで

通信教育部では北海道から沖縄まで、年齢は十代から七十代まで、実に三千二百名以上の学生が学んでいます。

エリアスターリングや遠隔指導がスタート サテライトキャンパスから 今年度より新たな試みとして、全国六都市でエリアスターリングを開催することとなりました。



インターネットによる遠隔指導

第三十七回「SEITOKU夏期保育大学」実施報告

去る七月二十四日(土)に第三十七回目を迎えた「SEITOKU夏期保育大学」が本学において開催されました。

今年の総合テーマは「た。今年の総合テーマは明日の保育を考える」で、子ども達とのかかわりや保育をどのように進めていくかに焦点をあてて、全国各地の幼稚園保育園に勤めの現場の先生方を始め、本学卒業生、在学学生、本学附属幼稚園の先生方のご参加を促していただきました。今年も昨年同様一日のみの開催で、猛暑の中ではありましたが、受講生



たくさんのご参加をいただきました

は熱心に受講しました。夏期保育大学は、十時から開講式、二十時二十分からは全体会として講演会が行なわれました。今年の講演会は、文部科学省初等中等教育局幼児教育課教科調査官 神長美津子先生をお招きして、子どもたちは今という



文部科学省初等中等教育局幼児教育課教科調査官 神長美津子先生

テーマで、一時間三十分の講演をいただきました。子どもたちもたちを取り巻く環境の変化により、幼児期での生活、保育の大切さを事例等を示して分かりやすくお話をいただきました。

午後には昼食をはさんで六会場に分かれて、分科会が十六時頃まで行なわれ、現場で抱えている子ども達の保育等に関するさまざまな



真剣に聞き入る受講者の方々

まな問題をテーマに取り上げ、少しでも現場の先生方の役に立つ講演、講義が展開されました。

第14号

information

平成十六年度 全国進学相談会開催

平成十七年度入試につきましては、推薦入試を始めとして、いよいよ願書の受付が間近に迫ってきました。既に受験する大学や学部・学科、或いは受験する入学試験の種類について決めておられる受験生の皆さんも多いでしょうが、慎重に研究中という方も多いのではないのでしょうか。

の皆さんのために、本学の主催による進学相談会を以下の日程で開催いたします。新学科の社会福祉学科を初め、新コース、新プランチ・エリアのご紹介、新しい入学試験の方法についてもご説明します。もちろんその他の疑問や相談もお気軽にお寄せください。



相談会場の様子

これからの進学相談会日程

日付	場所	時間	主催
10月3日(日)	盛岡 盛岡・ホテルニューカリーナ	10:00~17:00	主催: 聖徳大学
10月17日(日)	長野 長野・ホテル国際21	10:00~17:00	主催: 聖徳大学
10月31日(日)	那覇 ホテル日航那覇グランドキャッスル	10:00~17:00	主催: 聖徳大学
11月15日(月)	新宿 新宿NSビル	15:00~18:00	
11月21日(日)	松戸 聖徳大学	10:00~17:00	主催: 聖徳大学
11月25日(木)	さいたま 大宮ソニックシティ	14:30~18:30	
11月26日(金)	横浜 新都市ホール(横浜そごう)	14:30~18:30	
11月28日(日)	松戸 聖徳大学	10:00~17:00	主催: 聖徳大学
12月5日(日)	土浦 土浦・ホテルCANKOH	10:00~17:00	主催: 聖徳大学
12月12日(日)	さいたま 大宮・JA共済 埼玉ビル	10:00~17:00	主催: 聖徳大学
2005 3月26日(土)	有楽町 東京国際フォーラム	10:00~16:00	(新2・3年生対象)

第十九回 全校合唱祭行われる

附属中学校・高等学校

七月十七日(土)に第十九回合唱祭が盛大に開催されました。この合唱祭は、音楽に満ち溢れた学園、歌声の



高校最優秀賞 4年A組の発表



中学最優秀賞 3年A組の発表

響く学園を目指し、合唱の練習を通してクラス、和と団結を深めることや、生き生きとした音楽表現活動を通して豊かな情操と音楽を愛好する心を養うことを目的に実施されています。

多くの感動を得たこの合唱祭は、フィナーレで全校合唱曲合唱祭の歌心の鎖を全員で歌い上げ生徒の感動の涙と共に終了しました。

中学生の部終了後、全校生徒が集合し、高校生の合唱を鑑賞しました。午前のクラス合唱の発表に引き続き、午後の部は音楽科生徒合唱

中学の部

▶最優秀賞 3A 『虹色の鐘』

高校の部

▶最優秀賞 4A 『手毬歌』

▶優秀賞 6B 『朝の祈り、陽気な娘たち』

6D 『地球が私を愛するように』

幼児教育専門学校 だより

夏は実習で保育者への力をつけます。 経験を重ねる「インターンシップ実習」

本校では、授業のない長期休暇を利用して、学生自ら進んで保育現場を体験する「インターンシップ実習」を行っています。

この実習は、学生が保育者になる意識の高揚と現場への理解、そして卒業後の就職にもよい連携をさせることを主とした目的で実施



実習で夢へとまた一歩近づきます

濃い位置づけになりました。昨年度から学事日程が変更し、九月も夏期休暇になることからインターンシップ実習の機会が増え、実習生の数も大幅アップ！また三田、八王子、多摩の三園でも、多数の実習生を受け入れていただき、そこで顔なじみになるなど、積極的に取り組んでいる学生もいます。

創立六十周年「保育の聖徳®」 「幼稚園支援プログラム」

本校は、昭和八年、東京市大森区(現東京都大田区)新井宿に創立者川並香順孝子先生により本校の前身である聖徳家政学院並びに新井宿幼稚園が創立され、昭和十九年、聖徳学園保母養成所となり、今年創立六十周年になります。

以来、今日まで保育者を養成する高等教育機関として、その責任を果たし、一万三千名以上の卒業生を送り出し、その実績が高く評価され、現在では、保育の聖徳®として、特許庁に商標登録されるまでに至っています。

これもひとえに皆様の温かいご支援のためものと深く感謝しております。本校では、幼稚園と保育者養成校との関係をより一層深めるために次のような「幼稚園支援プログラム」を企画し、実施しております。

一、幼稚園支援プログラム

本校専任教員等の派遣
幼稚園内などで計画されている研修会や研究会への講師派遣や、日常の勉強会などでお役に立てていた本校専任教員等の派遣。

二、幼稚園支援プログラム2

長期休暇を利用して、幼稚園教諭二種免許状取得者が、実務経験年数によって異なる必要単位数を講習会に参加し取得します。幼稚園教諭一種免許状を取得できます。また、小学校教諭二種免許状も取得できます。この講習会は、聖徳大学松戸キャンパスで開催しています。ご遠慮なく、お電話・FAXなどにてご相談下さい。

保育者に必要な特色ある教育

第四十三回 保育表現研究発表会



発表会の練習風景

毎年十月に、部の二年生による保育表現研究発表会が行われます。この発表会では保育者にふさわしい表現力、創造力とともに協調性や自主性を育て、実力ある保育者へのまた一歩なっています。



練習の成果を見事に披露

発表会にむけて学生は一年次の後半から準備をはじめます。グループごとに発表テーマを決め、グループ内で選曲や構成、振付、衣装などを決め、手作りで仕上げます。

暑かった夏期休暇中も必死にグループで練習に取り組みました。発表会当日は、内外より高い評価を得ています。まさに保育表現研究発表会は「保育の聖徳®」の根本となる教育研究活動であるといえるでしょう。

児童文化研究発表会(聖徳にこにこまつり同時開催)



子どもと一緒にピース!!

毎年十一月三日文化の日に、部・部生の一年生と三田幼稚園との合同行事、聖徳にこにこまつりが行われます。

折り紙や壁面デザイン、人形劇やペープサート、エプロンシアターなど創作を通じて子どもたちの前に立つて保育者としての実力をつけていきます。

この児童文化研究発表会も、保育の聖徳®を象徴する教育活動です。

児童文化研究発表会(聖徳にこにこまつり同時開催)
平成十六年十一月三日(水祝)十時より
於 幼児教育専門学校



初めての子どもへの対応にドキドキ

育研究活動であるといえます。

八月一日、千葉県文化会館において行われた、第四十六回千葉県吹奏楽コンクールに、ブラスバンドクラブが出場しました。この大会には五年前から参加するようになり、過去四回の大会ではそれぞれ金賞、銅賞、金賞、銀賞を受賞しています。



最後にになりましたが、お世話になった皆様に深く感謝の意を表します。

第四十六回 吹奏楽コンクール出場 金賞受賞

附属小学校ブラスバンドクラブ

「今年は金賞、および一つ上の大会である東関東大会を目指そう」と練習に励んできました。しかし、四十二人の部員の中で、今年の四月から楽器を持ち始めたのは何と二十五人。しかも練習できるのは、通常は毎朝七時三十分からの五十分の間のみで、他の学校と比べたら練習量はおよそ半分ほどしかありません。そんな不利な状況をカバーしてくれたのは、十人の六年生達でした。

いよいよ本番。舞台袖で緊張した顔の子ども達。しかし舞台上上がり、「二十一番、聖徳大学附属小学校」とアナウンスが流れる頃には、自信に満ちた、それでいて笑顔の子ども達の姿があり、一致協力して演奏することができました。演奏後、「楽しかった」と満足そうに言う子ども達は最高の笑顔をしていました。結果発表で、「ゴールド金賞」と呼ばれた時は、今までの苦労が報われた嬉しさで泣いている六年生の姿がありました。残念ながら東関東大会への出場権は得られませんでした。が、それ以上の何かをこのコンクールで得ることができたような気がします。

幼稚園短信

園外保育 乗り物いっぱい！ 交通博物館

三田幼稚園

毎年十一月、松組(年長)は秋葉原にあります交通博物館に出かけます。子ども達は幼稚園の最寄の駅JR田町駅に集合し、電車に乗る楽しみと緊張感を胸に園外保育に出発します。通勤客の方々と同じ電車に乗り、山手線の中では、公共マナーを身につける機会、静かにしないとみんなに迷惑がかかるねと事前の話し合いから車輪の中では景色に思わず見て!!といったいと



リアルな船の模型に「わぁー」

ころを我慢！我慢！で秋葉原に到着です。「皆さんお帰りください。」とお褒めのお言葉を頂くこともあります。場を覚えて行動する、人に迷惑をかけるなという日頃の保育の効果が現れたそんな時はうれしく思います。

交通博物館では昔の乗り物から現代の乗り物、未来の乗り物等たくさん展示物に触れたり見たりします。「昔の乗り物は、かごだったんだね。川を渡るときは台に人が乗ってその台をまた人が持つて運んでるけど泳げるのかな？濡れちゃうよね。」などパネルを見たり先生が話をしてくる中で疑問も飛び出していきます。

納涼盆踊り大会

浦安幼稚園

去る八月七日(土)に浦安幼稚園園庭で、園児、保護者五百四十名が参加する夏の幼稚園最後のイベント盆踊り大会を開催することが出来ました。計画する段階で園庭も狭いこと、土曜日である

組の子ども達が赤くなったらいよいよトマトになるんだよ。もうちょっと待ってようね」まだあかちゃんきゅうりはかわいそうだから大きくなるまでとちや駄目だよと年少組のお友達に教えている姿が見られました。毎日登園してくると、お水を上げ、「大きくなったよ」葉っぱに穴が開いている!!」などと感動したことや発見したことを、報告をしてくることも子ども達の日課となりました。夏休みに入る前は夏の間は枯れちゃうよ、「お休みの時にいっぱいトマトができてたらどうしよう!!」



大きな収穫の前に笑顔

栽培を通して 収穫の喜び

三田幼稚園はJR田町駅から徒歩七分、東京タワーを目の前に周りの環境はオアシス街です。園庭もアスファルトで照り返しが強くなるほんの少しの花壇があります。昨年は聖徳学園の六つの園の研究発表会で植物栽培を通して研究を進めてまいりました。今年も子ども達の楽しみにしている植物栽培を継続して調査を進めています。昨年はトマトが青く小さいうちから、いくつ子ども達が取ってしまっていました。今年も昨年の経験した年中組や年長

こと、そして保護者の園に対する関心度が高いこと、兄弟姉妹・祖父母の方が参加すること、また不法侵入対策も考えられましたので、入場制限をしました。心配していた混乱や大きなトラブルもなく川並弘純副園長先生の挨拶をいただいた、聖徳幼稚園オリジナルの聖徳音頭から始まり、途中二回の休憩に父母の会が販売する飲み物、玩具も予約販売でスムーズに希望者先生！特別に食べていいからね。お水で洗ってから食べてね」と子ども達が自らの経験や知識からの言葉で話してきてくれます。自分で世話をしたり観察することによりお日様と土からの栄養、水が必要なものもわかり、茎や蔓が伸びたり実が大きくなる成長していく事も楽しみにしている様子です。子ども達は植物は種から芽生え葉が出て花が咲き実を結び、やがて枯れてまた種ができるというサイクルを知ったり、人間が生きていくためには食物が必要でそれを自分で育てて収穫することの喜びを経験することができました。嫌いな物でも自分で育てた野菜だから、おいしいながら、くちくち口にすると子ども達も聖徳園三田幼稚園の特色でもある完全給食においても偏食矯正に役立つそうです。

「夏休み作品展」を行くこと!!

八王子中央幼稚園

毎年、二学期がスタートしてすぐに、夏休み作品展が行われます。夏休みの間に、自分の力で一生懸命作ったり、お父様と共同で作ったり、描いたり、お母様と一緒に裁縫をしたりしたそれぞれの作品をコーナー別に展示し、保護者の方と一緒に見学していきます。動物コーナーや乗り物コーナー、ままごとコーナー、ゲームコーナーなど、様々なコーナーに沢山の作品が並び、つづつ見ていくと、時が過ぎるのもあっという間で「そろそろ帰らしましょう」という保護者の方の声に対して、「やだ!!」も少しだけ見たい!!「帰らない!!」という子ども達の声も聞かれるほどです。「私の作品どれか



聖徳音頭で盆踊り

撈した効力なのか、ご注意は頂かなくて済みました。只来年の入園希望の方がいっぱいだったので下さったの一緒に参加していただくことが来年の課題です。今後とも関係者の方々に教えて頂きながら日々幼児教育に努力実践してまいりたいと思います。

「あつ!! ちゃん作品だー。かわいいねー。」や「僕も作りたーい。」と、自分の作品を見つけたら大喜びする子どもや、教師や友達に「これはね、絵の具で色を塗ったの。」「お父さんと一緒に作ったんだー。」「これはおばあちゃんの家で咲いたお花を押し花にしたの。」と作った時の事を思い出して嬉しそうに話をすると子ども達の姿が見られます。又、「あつ!! ちゃん作品だー。かわいいねー。」や「僕も作りたーい。」と、自分の作品を見つけたら大喜びする子どもや、教師や友達に「これはね、絵の具で色を塗ったの。」「お父さんと一緒に作ったんだー。」「これはおばあちゃんの家で咲いたお花を押し花にしたの。」と作った時の事を思い出して嬉しそうに話をすると子ども達の姿が見られます。又、「あつ!! ちゃん作品だー。かわいいねー。」や「僕も作りたーい。」と、自分の作品を見つけたら大喜びする子どもや、教師や友達に「これはね、絵の具で色を塗ったの。」「お父さんと一緒に作ったんだー。」「これはおばあちゃんの家で咲いたお花を押し花にしたの。」と作った時の事を思い出して嬉しそうに話をすると子ども達の姿が見られます。



作品を見る目は真剣

楽しい思い出 「お泊り会」

多摩中央幼稚園

八月二十日・二十一日年長組が期待と不安の気持ちの中、いつてきます!!とお泊り会の「箱根」へ出発しました。

・合宿での生活を通し、協同生活の決まりを身につける
・自主自立の精神を養う
・自然への興味関心を深める
・という目的のもとにお泊り会を実施いたしました。箱根へ向かうバスの中では、緊張していた表情も、歌を歌ったりゲームをする中で、明るいつつ胸を膨らませ、やすらぎの森へ向かいました。



かわいいインディアン

やすらぎの森に到着し、森のテーマ館を見学していると、大きなカブトムシやクワガタを見つけ、その場

又、子ども達が一番楽しみをしていたのが宝探しでした。山賊の置いていった手紙を次々にたどって、それ

二日目は船に乗り水族館へ向かいました。テレビや図鑑でしか見たことのない大きなエイや、光る魚などを見学し、この魚には目がな

年長組は、毎年聖徳子ども農園でじゃが芋を育てています。まだ寒さ厳しい二月初旬に自分達の手で種イモを植え付けて成長を楽しみに待つ七月に収穫をします。今年も本園の石戸美帆先生のおじいさまとおばあさまのご厚意で何度も足

「大きなじゃが芋 たくさん 採れたよ!」

附属第二幼稚園

を運んで頂き畑を耕し、肥料の世話など専門的知識で手入れをして頂いたお陰で例年になく大豊作になりました。収穫の当日は掘っても掘っても出てくる大きなじゃが芋に「うあー、うかーい!」ほら、先生!見て、見て」と大声をあげて喜び子ども達、自分達で植えたじゃが芋は本当に大きくなるのだろうか? 花は咲くのだろうか?



ベストスマイル!!

るのか? と心配と共に期待が大きかっただけに、うれしさを隠しきれない様子でした。友達同士で掘った芋の数を競い合ったり、じゃが芋の料理名をあげ合ったりと微笑ましい姿もたくさん見られました。保護者を招いて



お母さん、お父さん見てる?

に遊び、遊び方を教えてもらったり年少児に優しく接する年長児の姿も見られました。

笑顔でした。今年の夏は毎日毎日暑い日が続く、一学期中ほとんど毎日プールに入っていたので、皆真っ黒に日焼けしてしまっていました。そのおかげで桜組の幼児もちゃんとひとりで水着に着替えられるようになっていました。五才児から三才児まで一緒

つて来ました。初日は、水着の着替え方から教わります。三才児組の幼児にとっては、水着を着る事だって大変な作業です。着終わる頃にはもう汗びっしょりになっていました。水着になつて体操をして、さあプールのある屋上へ出発です。最初からプールに入ってパチャパチャ始める子、ちよつと様子を

六月の終わりに七月から幼稚園で水遊びをします」という手紙を出す、それを聞きつけた子ども達は、毎日まだかまだかと心待ちにしています。それを知っていたかの様に、プールが始まる七月一日も朝からお日様がにっこり顔を出していました。子ども達はビニールバックにお気に入りの水着と帽子、それに水遊びをする洗剤容器や水鉄砲を入れて足どりも軽やかにや

水遊び

附属第三幼稚園

今年も本園の石戸美帆先生のおじいさまとおばあさまのご厚意で何度も足を運んで頂き畑を耕し、肥料の世話など専門的知識で手入れをして頂いたお陰で例年になく大豊作になりました。収穫の当日は掘っても掘っても出てくる大きなじゃが芋に「うあー、うかーい!」ほら、先生!見て、見て」と大声をあげて喜び子ども達、自分達で植えたじゃが芋は本当に大きくなるのだろうか? 花は咲くのだろうか?

今年も本園の石戸美帆先生のおじいさまとおばあさまのご厚意で何度も足を運んで頂き畑を耕し、肥料の世話など専門的知識で手入れをして頂いたお陰で例年になく大豊作になりました。収穫の当日は掘っても掘っても出てくる大きなじゃが芋に「うあー、うかーい!」ほら、先生!見て、見て」と大声をあげて喜び子ども達、自分達で植えたじゃが芋は本当に大きくなるのだろうか? 花は咲くのだろうか?

今年も本園の石戸美帆先生のおじいさまとおばあさまのご厚意で何度も足を運んで頂き畑を耕し、肥料の世話など専門的知識で手入れをして頂いたお陰で例年になく大豊作になりました。収穫の当日は掘っても掘っても出てくる大きなじゃが芋に「うあー、うかーい!」ほら、先生!見て、見て」と大声をあげて喜び子ども達、自分達で植えたじゃが芋は本当に大きくなるのだろうか? 花は咲くのだろうか?

「楽しかった 夏期保育」

附属幼稚園

記録的な暑さの続く八月一日〜八月五日木まで夏ならではの経験をするこ



うまくわかるかな

三日目は年長児が楽しみにしていた宿泊保育です。午後三時過ぎ、大きなリュックを背に登園した幼児は、いつもより張り切っているように見えた。荷物の整理をした後、学内の散歩にでかけシャシヤン広場で笑顔の写真を撮りました。その後夕食を頂き、いよいよキャンプファイヤーです。火の由来などの話を聞いた後、インディアンが火を持って登場

午後八時、就寝の間です。昼間の興奮から、なかなか眠れない幼児もいました。始まったが、児は教師の心配をよくよそに良く寝ていました。翌朝には元気に



しっかり歯みがき

幼稚園で水遊びをします」という手紙を出す、それを聞きつけた子ども達は、毎日まだかまだかと心待ちにしています。それを知っていたかの様に、プールが始まる七月一日も朝からお日様がにっこり顔を出していました。子ども達はビニールバックにお気に入りの水着と帽子、それに水遊びをする洗剤容器や水鉄砲を入れて足どりも軽やかにや

今年も本園の石戸美帆先生のおじいさまとおばあさまのご厚意で何度も足を運んで頂き畑を耕し、肥料の世話など専門的知識で手入れをして頂いたお陰で例年になく大豊作になりました。収穫の当日は掘っても掘っても出てくる大きなじゃが芋に「うあー、うかーい!」ほら、先生!見て、見て」と大声をあげて喜び子ども達、自分達で植えたじゃが芋は本当に大きくなるのだろうか? 花は咲くのだろうか?

今年も本園の石戸美帆先生のおじいさまとおばあさまのご厚意で何度も足を運んで頂き畑を耕し、肥料の世話など専門的知識で手入れをして頂いたお陰で例年になく大豊作になりました。収穫の当日は掘っても掘っても出てくる大きなじゃが芋に「うあー、うかーい!」ほら、先生!見て、見て」と大声をあげて喜び子ども達、自分達で植えたじゃが芋は本当に大きくなるのだろうか? 花は咲くのだろうか?



「冷たいっ!」

平成17年度 入試日程

聖徳大学大学院(共学/昼・夜開講)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
前期課程 全専攻科	内部推薦入試E(除臨床)	11月15日(月)~11月24日(水)	11月28日(日)
	内部推薦入試E(臨床のみ)	2月 7日(月)~ 2月23日(水)	2月27日(日)
	一般入試B 社会人特別入試B 私費留学生特別入試B	11月15日(月)~11月24日(水)	11月27日(土)、28日(日)
前期課程 全専攻科	内部推薦入試B	11月15日(月)~11月24日(水)	11月27日(土)、28日(日)
	一般入試B 社会人特別入試B 私費留学生特別入試B	2月 7日(月)~ 2月23日(水)	2月26日(土)、27日(日)
	一般入試A 社会人入試A	11月 8日(月)~ 11月18日(木)	11月28日(日)
後期課程 全専攻科	一般入試A 社会人入試A	2月 7日(月)~ 2月17日(木)	2月27日(日)
	一般入試B 社会人入試B	11月 8日(月)~ 11月18日(木)	11月27日(土)、28日(日)
	一般入試A 社会人入試A	2月 7日(月)~ 2月17日(木)	2月26日(土)、27日(日)

聖徳大学大学院通信教育課程(共学)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
4月生	博士前期4月生(A日程)	12月13日(月)~1月26日(水)	1月30日(日)
	博士前期4月生(B日程)	1月31日(月)~3月 9日(水)	3月13日(日)
	博士後期4月生	12月13日(月)~1月26日(水)	2月27日(日)

平成17年度博士後期課程は、別日程で1次選考書類審査が実施されます。

聖徳大学人文学部(女子)・聖徳大学短期大学部(女子)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
大学/短大	内部推薦入試	10月13日(水)	10月20日(水)
	エリア入試(推薦)	10月21日(木)~11月 2日(火)	11月7日(日)
	指定校推薦入試 同窓会推薦入試A 後援会推薦入試A	10月25日(月)~11月 4日(木)	11月7日(日)
	公募推薦入試(前期) 公募推薦入試(芸) 入寮希望者推薦入試 入寮希望者推薦入試(芸) 総合学科推薦入試 専門高校推薦入試	10月25日(月)~11月 5日(金)	11月8日(月)~9日(火)
	専修学校推薦入試	10月25日(月)~11月 5日(金)	11月8日(月)
	自己推薦入試A 適性推薦入試A 社会人特別入試A 帰国子女特別入試A 私費留学生特別入試A	11月22日(月)~12月 3日(金)	12月5日(日)
	自己推薦入試B 適性推薦入試B 同窓会推薦入試B 後援会推薦入試B	12月 6日(月)~12月17日(金)	12月19日(日)
	公募推薦入試(後期) 自己推薦入試C 適性推薦入試C	12月16日(月)~1月 7日(金)	1月9日(日)~10日(月)
	AO入試(後期) エリア入試(一般)	1月 6日(木)~1月26日(水)	1月29日(土)
	一般入試A 社会人特別入試B 帰国子女特別入試B 私費留学生特別入試B	2月 7日(月)~ 2月22日(火)	2月24日(木)~25日(金)
一般入試B 一般入試C	2月28日(月)~ 3月11日(火)	3月15日(火)	

1 試験日自由選択制 音楽文化学科は指定日:1月9日(月)
 2 試験日自由選択制 音楽文化学科は指定日:一般入試A 1月31日(月)~一般入試B 2月24日(木)~一般入試C 3月15日(火)

大学入試センター試験

1月15日(土)~16日(日)

聖徳大学人文学部編入学(女子) 聖徳大学短期大学部専攻科(女子)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
編入学	学士入試B 一般入試B 社会人特別入試B	10月25日(月)~11月 5日(金)	11月 9日(火)
	内部推薦入試B 学士入試C 一般入試C 社会人特別入試C	12月 6日(月)~12月17日(金)	12月19日(日)
	内部推薦入試C 学士入試D 一般入試D 社会人特別入試D	2月 7日(月)~ 2月22日(火)	2月25日(金)
専攻科	一般入試B	10月25日(月)~11月 5日(金)	11月 9日(火)
	内部推薦入試B 一般入試C	12月 6日(月)~12月17日(金)	12月19日(日)
	内部推薦入試C 一般入試D	2月 7日(月)~ 2月22日(火)	2月25日(金)

聖徳大学幼児教育専門学校(女子)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
A/O入試	後期A日程	1月 7日(金)~ 1月21日(金)	1月22日(土)
	後期B日程	3月 1日(火)~ 3月19日(土)	3月20日(日)
	前期A日程	10月 1日(金)~ 10月14日(木)	10月16日(日)
	前期B日程	10月18日(月)~10月29日(金)	10月30日(日)
推薦入試特別入試	前期C日程	11月 1日(月)~ 11月19日(金)	11月21日(日)
	前期D日程	11月24日(水)~ 12月16日(木)	12月18日(土)
	後期A日程	1月 7日(金)~ 1月21日(金)	1月22日(土)
	後期B日程	1月24日(月)~ 2月10日(木)	2月11日(祝・金)
一般入試	後期C日程	2月14日(月)~ 2月26日(土)	2月27日(日)
	後期D日程	3月 1日(火)~ 3月19日(土)	3月20日(日)
	前期A日程	11月 1日(月)~ 11月19日(金)	11月21日(日)
	前期B日程	11月24日(水)~ 12月16日(木)	12月18日(土)
推薦入試特別入試	後期A日程	1月 7日(金)~ 1月21日(金)	1月22日(土)
	後期B日程	1月24日(月)~ 2月10日(木)	2月11日(祝・金)
	後期C日程	2月14日(月)~ 2月26日(土)	2月27日(日)
	後期D日程	3月 1日(火)~ 3月19日(土)	3月20日(日)

聖徳大学附属中学校(女子)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
中学	第一志望選考	11月16日(火)~11月27日(土)	12月1日(水)
	選抜入試A日程	1月 8日(土)~ 1月18日(火)	1月20日(木)AM
	選抜入試B日程	1月 8日(土)~ 1月18日(火)	1月22日(土)PM
	選抜入試C日程	1月 8日(土)~ 1月31日(月)	2月1日(火)

聖徳大学附属高等学校(女子)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
高校	普通科・音楽科推薦選考	1月13日(木)~14日(金)	1月17日(月)
	普通科選抜入試	1月24日(月)~25日(火)	1月27日(木)
	音楽科選抜入試	1月24日(月)~25日(火)	1月27日(木)28日(金)

聖徳大学附属聖徳中学校(女子)・聖徳高等学校(女子)

入試区分	願書受付期間	入試日	
推薦入試	窓口での出願期間 12月2日(木)~12月3日(金)	12月5日(日)	
	郵送での出願期間 11月26日(金)~12月1日(水) 必着		
	窓口での出願期間 12月24日(金)~12月25日(土) 1月6日(木)		
一般第一回入試	窓口での出願期間 12月17日(金)~12月22日(水) 必着	1月7日(金)	
	郵送での出願期間 1月20日(木)~1月21日(金)		
一般第二回入試	窓口での出願期間 1月14日(金)~1月19日(水) 必着	1月23日(日)	
	郵送での出願期間 2月3日(木)~2月4日(金)		
一般第三回入試	窓口での出願期間 1月28日(金)~2月2日(水) 必着	2月6日(日)	
	郵送での出願期間 1月28日(金)~2月2日(水) 必着		
高校	推薦入試	12月16日(木)~12月17日(金)	1月12日(水)
	一般第一回入試	1月13日(木)~1月14日(金)	1月20日(木)
	一般第二回入試	1月13日(木)~1月14日(金)	1月21日(金)
	一般第三回入試	2月17日(木)~2月18日(金)	2月20日(日)

聖徳大学附属小学校(共学)

入試区分	願書受付期間	入試日
内部入試	9月27日(月)~10月4日(月)	10月 6日(水)
一般入試第 期	10月18日(月)~11月2日(火)	11月 4日(木)
一般入試第 期	11月29日(月)~12月9日(木)	12月11日(土)

三田幼稚園・八王子中央幼稚園・多摩中央幼稚園

	選考	願書受付	入試日
三田幼	面接	11月1日(月)~3日(祝・水)	11月5日(金)
八王子幼	面接	11月1日(月)~2日(火)	11月4日(木)
多摩幼	面接	11月1日(月)	11月2日(火)

附属幼稚園・附属第二幼稚園・附属第三幼稚園・附属浦安幼稚園

	選考	願書受付	入試日
附幼	入園テスト	11月1日(月)	11月2日(火)
附二幼	入園テスト	11月1日(月)	11月2日(火)
附三幼	入園テスト	11月1日(月)	11月1日(月)
浦安幼	入園テスト	10月30日(土)	10月31日(日)

ご来場お待ちしております。 詳細は各校へお問い合わせ下さい。

10月9日(土) 附属第二幼稚園 聖徳子どもまつり

10月10日(日) 附属中学校・高等学校 第22回 聖徳祭

10月17日(日) 附属第三幼稚園 聖徳子どもまつり

10月23日(土) 附属小学校 第19回 聖徳祭

10月24日(日) 八王子中央幼稚園 聖徳にこにこまつり

10月24日(日) 聖徳子どもまつり

10月30日(土) 附属幼稚園 聖徳子どもまつり

10月31日(日) 多摩中央幼稚園 聖徳にこにこまつり

11月3日(祝) 幼児教育専門学校 聖徳にこにこまつり

11月13・14日(土・日) 聖徳大学・聖徳短期大学部 第40回 聖徳祭

11月13・14日(土・日) 聖徳子どもまつり

11月30日(土) 聖徳子どもまつり



聖徳大学音楽研究センター

レクチャー・コンサート

~ショパンの歌曲を中心に~

ショパンを大好きな方のために日本語で歌うショパンの知られざる歌曲と、名曲のピアノ独奏。作曲家ショパンの創造についての興味深い解説付き。

演奏作品
ショパンの歌曲:「願い」、「悲しみの川」
ショパンのピアノ作品:幻想即興曲、ノクターン
リストの歌曲:「愛の夢」他

出演者
うた: 小泉 恵子
ピアノ: 池本 純子
お話し: 小坂 裕子

2004年10月16日(土) 15:00開演

【会場】
青山カワイサロン
入場料:1,500円(一般)
・学生(無料)

聖徳大学音楽研究センター特別講座

Organ Recital

パイプオルガン・リサイタル

Masatake Kuno
久野 将健

プログラム
J.S.バッハ:「フーガの技法」BWV1080

2004年10月23日(土)
15:30開場 / 16:00開演

【会場】
聖徳大学川並香順記念講堂 右記地図参照
入場料:1,000円(全席自由)

聖徳大学大学院 音楽文化研究科

聖徳大学大学院第一期修了生有志による演奏会

~シューベルトの世界~

プログラム
ピアノ独奏:ソナタ D.537
ピアノ連弾:幻想曲 へ短調
歌曲:「月に寄せて」「少女」ほか

出演者
ピアノ: 池田 桂子
安田 由美
ソプラノ: 局 和美
ピアノ伴奏: 櫻井 良子

2004年11月3日(祝・水)
14:00開演

【会場】
聖徳大学奏楽堂 右記地図参照
入場無料

聖徳大学へお越しの際は電車をご利用下さい。

【お問い合わせ】
〒271-8555
松戸市岩瀬550番地
Tel.047-365-1111
(内線3231~4)

特別展覧会 利根山光人の世界展

今年、本校舎の芸術的環境づくりに多大な功績を残した利根山光人先生の没後十年にあたり、この機会に本校が所蔵している先生の未発表作品の中から、優れた素描と色鮮やかな油彩の絵画を選び、利根山光人の世界展として公開いたします。この機会に、永遠に生き続ける芸術作品の素晴らしさを鑑賞して下さい。

会期:平成十六年七月五日(土)~十月三十一日
午前九時~午後五時
会場:聖徳大学 クリスタルホール・利根山光人記念ギャラリー
入場:無料

学校法人 東京聖徳学園

〒108-0073
東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)

発行人 川並弘昭
編集 理事長室 企画渉外課
04.10.1 re (38.)

The 75th Anniversary

読者の欄

学園広報誌聖徳フワッシュをお読みいただきありがとうございます。聖徳フワッシュは皆様の広報誌です。ますます充実させていきたいと思っております。是非皆様からのご意見・ご感想をお寄せください。

宛て先 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550
東京聖徳学園 「聖徳フワッシュ」係まで
FAX. 047-363-1401 Eメールアドレス pub@seitoku.ac.jp